

奨励賞に小中高生3人

県内選出 学校奨励賞3校

全国新聞感想コンクール

日本新聞協会は11日、家族や友人と新聞記事を読み、話し合った感想を記事と共に応募する「第14回いっしょに読もう！新聞コンクール」の入選者を発表した。本県からは、つくば市立春日学園義務教育学校5年の川島優俐君、茨城キリスト教学園中2年の北原花乃さん、県立下妻二高2年の塩田なつみさんの3人が奨励賞に入選。学校奨励賞に日立市立坂本中、県立下館二高、県立取手二高の3校が選出された。

全国の小・中・高・高専 生から計5万9248点の応募があった。最優秀賞には、安田学園安田小（広島県）5年の高田彩楽さん、恵泉女学園中（東京都）3年の大作知穂さん、埼玉県立川越女子高1年の石川真帆さんが選ばれた。団体応募は503校からあり、日

常的に新聞に触れる活動に取り組んでいる15校に優秀学校賞、177校に学校奨励賞が贈られた。川島君は、新聞の「迷惑動画大問題に」の記事を選び、感想を寄せた。「普段から動画を見るので気になった。賞を取れると思わなかったのでもうれし

い」と喜びを語った。

北原さんは、新聞の「削り氷 清少納言も魅了」の記事について母親と話し合った。「同じ記事を読んでも母と着眼点が違った。一つの記事や物事に対して人と話し合うことが大切なんだと感じた」と振り返った。

新聞の「自分の部屋から『メタバース登校』」の記事を読んだ塩田さんは、「新聞は読み始めてみると面白くて、新しい発見がたくさんあった。興味がなかった出来事にも目が向くようになった」と話した。

表彰式は16日、横浜市のニユースパーク（日本新聞博物館）で開かれる。

（平野有紀）



川島優俐君



北原花乃さん



塩田なつみさん